



手に手をつないで

書・沖 史郎 (田辺東 RC)

- 歴史に学び 変革と進歩を
- 縁づくり



本年度地区バッジ (弁慶)

Governor Message

ガバナーメッセージ

“親睦活動月間” に寄せて



ガバナー 村上 有司 田辺 RC(弁護士)

- クラブ会長
- ガバナー補佐
- 米山メジャードナー
- 財団大口寄付者

■ロータリークラブは、多種多様な職業人の集団です。又趣味・趣向の面でも多彩な人々が集まっています。しかし、類似業種の人や趣味・趣向を同じくする人々が、共通の土俵で喜びや苦しみを話し合ったり、奉仕活動を共同にして親睦を深めることは可能です。RI理事会は、毎年6月を“ロータリー親睦活動”月間と定め、ロータリアンが友好と友情を確認し合って、親睦を深めることを推奨しています。

■創始者ポール・ハリスは、「胸襟を開いて語り合える人生の友達を見つけたい」との一念で、ロータリークラブを創ろうとしたといわれていますが、105年を経過した今日でもその源流は変わっていません。「親睦を重ねて縁づくりを進める」、これはロータリー活動の大きな目標です。“手に手をつないで”親睦の輪を広げていけば、武力や兵器がなくとも“世界平和”の実現は可能ですし、それがロータリーの目指す到着点なのです。

■クラブの中には、ゴルフ同好会・野球部・写真同好会・コーラス部等活発な親睦活動をしているところがあります。最近、組織の活性化に苦悩するクラブを多く見受けますが、同好会活動が新会員の獲得や退会防止を促進する一助となるかもしれません。もっとも、ロータリークラブは“同好の集団”ではありませんので、それだけで終わっては困ります。しかし、これを入口にして仲間を増やし、その後研鑽を続けて互いに成長することが出来れば意味のあることではないでしょうか。同好会は、「クラブや地区レベルの活動というのではなく個人の活動」ですので、ロータリーファミリーやローターアクトを参加させることは可能ですが、「政治的・宗教的活動」は認められていませんので注意して下さい。

■もちろん、“ロータリー親睦活動”の本丸は、毎週開かれる例会であり、又各種奉仕活動の場であることは言うまでもありません。ロータリー活動は、「参加することに意義がある」のですから、多くの実践活動に参加して友情を確かめ合うことが必要ですし、その中から本当の親睦がはかれるのです。ロータリー活動は楽しくなければなりません。“親睦”は、そのために不可欠な清涼剤であり接着剤ですが、ロータリー活動の普及の一里塚であることを忘却すべきではありません。



RI 会長 ジョン・ケニー スコットランド (弁護士)

- RIBI 会長
- 財団大口寄付者

月イチおんが ガバナーが行く

最終回 汐崎 まこと (新宮 RC)



ウェブ月信【案内】 URL: <http://www.rid2640g.org>

Web guidance

- RI 会長挨拶
- ガバナー挨拶
- 新入会員紹介
- カウンセラー挨拶
- 地区委員長挨拶
- 財団・米山情報
- 6 月予定表
- 会員変動
- ロータリー文庫